

9 月例会 生田緑地観察会

(9月4日)

前夜のゲリラ豪雨にも関わらず 30 名を超す参加者で出発した。小田急線向ヶ丘遊園駅南口から生田緑地に向かった。府中街道を横断する信号は 30 秒。全員無事に渡り終えた。東口に向かう途中から西に入り長者穴横穴墓群から 360 段の階段を上ってまずは飯室山を目指す。キツネノカミソリがきれいに咲いていた。すでに実をつけている個体もある。カシワバハグマはまだこれからのようだ。飯室山広場までに 2 回ほど大休止をしながらのんびり上る。曇天のおかげで気温はそれほど高くないが湿度は高く、路面も滑りやすい。飯盛山広場で Y 先生からタマノカンアオイの話进行。さらに歩を進めて枳形山で大休止となった。エンジュの大きな木に実が沢山ついていた。

ここから戸隠不動尊跡地に向けて山を下る。アサダのぼろぼろの樹皮を右手に見ながら下がり、ホテルの里へ向かう。ここは湿地帯になっていて、ツリフネソウ、カサスゲ、ミゾソバ、ハンノキ、ジュズダマなどを観察しながら民家園西門を目指す。本日の階段の登りはここまで、大休止後、途中でケンポナシ、イイギリ、オオモクゲンジなど木の肌や花を観察しながら中央広場を下る。ここで少し遅めの昼

午後はつつじ山方面の尾根道に出て東に向かう。トチノキの実が路上に沢山落ちていた。途中の石垣ではクモノスダを観察し再び中央広場に降下。キッコウハグマ、トキホコリ、ナンバンギセル、ホドイモなどを観察しながら東口へ向かい、解散となった。(市川 記)

□ 以下主な観察種 (詳細は年報に記載)

[ホングウシダ科]ホラシノブ、[チャセンシダ科]クモノスダ、[シシガシラ科]コモチシダ、[オシダ科]ベニシダ、[ウラボシ科]ノキシノブ、[ヤマノイモ科]ヤマノイモ、オニドコロ、[イヌサフラン科]ホウチャクソウ、[サルトリイバラ科]サルトリイバラ、[ヒガンバナ科]キツネノカミソリ、[カサスゲカズラ科]ヤブラン、ノシラン、[ツユクサ科]ヤブミョウガ、[アワブキ科]アワブキ、[マメ科]エンジュ、ホドイモ、[クロウメモドキ科]ケンポナシ、[アサ科]カナムグラ、[イラクサ科]カラムシ、トキホコリ、[ブナ科]シラカシ、コナラ、クヌギ、ウラジロガシ、マテバシイ、ウバメガシ、スダジイ、[カバノキ科]アサダ、ハンノキ、[ウリ科]カラスウリ、[ヤナギ科]イイギリ、[キブシ科]キブシ、[ムクロジ科]トチノキ、オオモクゲンジ、[タデ科]ミゾソバ、ミズヒキ、[ヤマゴボウ科]ヨウシュヤマゴボウ、[アジサイ科]タマアジサイ、[サクラソウ科]オカトラノオ、[ハイノキ科]サワフタギ、[エゴノキ科]エゴノキ、[リョウブ科]リョウブ、[ナス科]ヒヨドリジョウゴ、[ハマウツボ科]ナンバンギセル、[キク科]カシワバハグマ、ヤブタバコ、キッコウハグマ、[ウコギ科]ハリギリ



クモノスダ



ナンバンギセル



タマノカンアオイ



トキホコリ



ホドイモ